



〈長崎県病院企業団通信〉

地域で支える  
医療と介護

# ふくよか

vol.39  
2024年 | 春号

■長崎県病院企業団本部  
■令和6年4月発行



## 春の若松大橋（新上五島町）

### CONTENTS

- P1 …… 新企業長より
- P2 …… リムキャス（離島等医療連携へり）就航5周年
- P3 …… 特集1 | 看護部門の取組
- P4 …… 特集2 | 令和6年度病院事業会計（当初予算）の概要・  
公営企業会計システムのリニューアル
- P5 …… 特集3 | 第8次 長崎県医療計画の概要
- P6 …… 退職者の紹介
- P7 …… BREAK TIME

### 「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの願いが込められています。



# 長崎県病院企業団、 企業長に就任して

長崎県病院企業団 企業長 八橋 弘



令和6年4月1日に長崎県病院企業団、企業長を拝命しました八橋弘です。どうぞ宜しくお願いいたします。

まず、初めに簡単に自己紹介をいたします。私は愛媛県出身ですが、長崎大学に入学してから現在に至るまで40年以上長崎県で暮らしてきました。この3月までは大村市にある国立病院機構長崎医療センターに36年間勤務し、最後の5年間に副院長と院長を経験して、このたび長崎県病院企業団に赴任することとなりました。

令和5年4月、総務省から昨年1年間に日本の総人口は55万6千人、日本人人口は75万人減少したと報告されました。一つの都道府県の人口が1年間でなくなるというスピード感で日本は変化しつつあります。人口減少と高齢化、医師配置の偏在、医師の労働時間の制限、看護師不足などの諸問題を抱えながらも、我々は、これらの状況の変化に応じて

報、時間など、健全な病院の運営、適切な医療の展開をおこなう上では、想像以上の多くの因子が複雑に絡んでいて、どれか一つでも欠けると適正な医療を展開することはできません。そして、医師、看護師、薬剤師をはじめとする病院職員の確保に加えて、いかなる時も住民から必要とされる医療を提供し続けるという情熱とその工夫と仕組みが必要と考えています。

また、離島や僻地に住む方々の病院へのアクセスを良くすること、道路整備やヘリを用いた患者搬送の充実やICTの活用も、これからの長崎県の医療を守る上では大切と考えています。

「人々が、豊かな生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を展開する為には、きれいな空気や水や自然あふれる環境、交通機関や上下水道、電気とガス、そして教育、医療、司法、金融制度が必要である」これは、東大名誉教授で数理経済学者の宇沢弘文氏（1928-2014年）が書かれた「社会的共通資本」の一節です。私は、36年間、長崎医療センターという3次救急病院に勤務してきた経験と、この4年間のコロナ診療の対応に関する経験から、「病院は、その地に住む人々が安心して暮らす為に必要

様々な工夫をすることにより、適切かつ必要な医療を地域住民の方々に継続的に提供しつづけるべきではありません。特に長崎県においては、60年前から人口減少と高齢化が始まり、現在もその変化は加速しています。また長崎県は複雑な地形を有し、かつ多くの離島を抱えています。

しかし、長崎県での、これらの諸問題についての気付きと対策の取り組みは早く、50年前から離島医療制度と医師のローテイト研修を開始し、他の都道府県と比較すると厳しい環境下でも離島医療にかかわる多くの優秀な医師を育ててきたという実績があります。また、離島に点在した病院の統廃合と病院機能の集約化にも早くから取り組んできました。また長崎県でのドクターヘリの運行は、全国でも早期に導入され、今もしっかりと離島医療や僻地医療を支えています。これまで長崎県でおこなわれた医療教育と医療改革は、古

なもの、無くてはならないものである」と確信するようになりました。

長崎県病院企業団は、企業団に属する病院や診療所のことだけでなく、長崎県全体の医療を支える屋台骨となることが期待されていると考えています。私は、長崎大学病院をはじめとする県内の病院、長崎医療センター、医師会、長崎県・6市1町の方々のご理解とご協力を得ながら、長崎県病院企業団に所属する8つの病院と3つの附属診療所を上手く機能させて運営してゆきたいと考えています。そして約2,400名からなる長崎県病院企業団職員の皆さんが、ここで仕事をすることに生きがい、やりがいを感じることできるように、皆さんとともに魅力的な組織作りをしてゆきたいと考えています。

最後に、私自身の医師人生を振り返りますと、長崎県以外の地で暮らす選択肢が今までなかったわけではありません、しかし、私は、この魅力ある長崎県で暮らす道、長崎県で医師を続ける道を選び続けました。私は、医療の面から、県民が長崎県で暮らすことの満足感と安心感を担保した上で、この魅力ある長崎県を内外にアピールすることができればと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。

くは長崎医療センターが、今は長崎県病院企業団が、先頭に立って牽引することでおこなわれてきたと考えています。

一方、今の医療の問題を考える上で、病院の建物や医療機器の整備だけを考える、医師数の確保だけを考えるのは、今の時代に合わなくなっているのではないかと考えています。たとえば、都会には多くの病院があり、多くの医師が病院に勤務していますが、コロナ禍においては都会ほど救急搬送困難事例が多く発生しました。医療機関同士の連携や病院の役割分担が上手く機能していなかったのが原因ではないかと考えています。

病院という建物があっても、看護師の数が確保できない場合や適正な医師配置ができない場合など、病院が人材を有効に活用し、上手く機能させることができないければ、適正な医療を展開させることはできないというのが今の病院の実情です。ヒト、モノ、カネ、情

## リムキヤス（離島等医療連携ヘリ）が 就航5周年を迎えます！

医師を本土から離島に運ぶために病院企業団が運航しているリムキヤスは、診療時間の確保や離島で本土と同じ診療を受けることにつながっています。また、公共交通機関での移動が難しい長崎医療センター、長崎大学病院などの患者が、引き続き地元離島病院で治療が受けられるようにヘリで搬送しています。令和2年度から運航を始めたリムキヤスは、令和6年度に就航5周年を迎えます。週3回・年間150回程度の計画運航で、これまで延べ2,100名を超える派遣医師や、40名を超える患者を搬送してきました。

今後、リムキヤスの非稼働日を活用した県のドクターヘリの運航時間の拡大のための環境を整備していく予定です。

これからも県などの関係機関の支援・協力を得ながら、離島医療を空から支えるヘリとして運航していきます。





## 令和6年度病院事業会計(当初予算)の概要

令和6年3月定例会議において、令和6年度病院事業会計(当初予算)が可決・成立しました。予算では、総収益は医業収益の829百万円の増、医業外収益の255百万円の増などにより1,082百万円の増加、総費用は医業費用の994百万円の増などにより1,004百万円の増加となり、経常損益は101百万円増の79百万円、純損益は78百万円増の55百万円となります。

引き続き、医療の質の維持・向上を図り、島内で治療可能な患者の島内での受診を促進する「郷診郷創」の取組などにより、安定した経営を目指していきます。

(単位:百万円、%)

区 分	R5年度 当初予算 ①	R6年度 当初予算 ②	増 減	
			増減額 ②-①:③	伸び率 ③/①
総 収 益	32,542	33,624	1,082	3.3
経常収益	32,478	33,562	1,084	3.3
医業収益	27,222	28,051	829	3.0
うち入院収益	16,906	17,623	717	4.2
うち外来収益	8,323	8,547	224	2.7
うちその他医業	1,488	1,336	▲152	▲10.2
医業外収益	5,256	5,511	255	4.8
うち繰入金	3,470	3,650	181	5.2
特別利益	63	62	▲2	▲3.1
総 費 用	32,565	33,569	1,004	3.1
経常費用	32,500	33,483	983	3.0
医業費用	32,050	33,044	994	3.1
うち給与費	17,099	17,539	440	2.6
うち材料費	6,477	6,601	124	1.9
うち経費	5,760	6,066	306	5.3
うち減価償却費	2,444	2,571	128	5.2
医業外費用	450	439	▲11	▲2.4
特別損失	64	85	21	32.4
予備費	1	1	0	0.0
経常損益	▲22	79	101	
当年度純損益	▲23	55	78	

※注1)医業外収益・費用は、訪問看護ステーション事業の収益・費用を含む。 ※注2)百万円未満の端数処理の関係で一致しない箇所がある。

## 公営企業会計システムのリニューアル

令和6年度から新しい「公営企業会計システム」に変わりました。今回の更新で新しい機能が追加され、各病院での日頃の会計事務だけでなく、本部でも財務諸表の作成や消費税の計算が容易に行えるなど業務改善が期待できます。

新しく追加された主な機能

### 1 電子決裁機能

新たに「電子決裁機能」を設けており、収入や支出など会計伝票の処理について、全て電子上で行い、決裁もパソコン上で行うことになります。将来的に紙伝票を廃止していく予定で、コスト削減やオフィスの省スペース化などが期待できます。

### 2 自動仕訳機能

起票時に予算科目を入力するだけで、自動的に仕訳作業が実施され、複式簿記に不慣れた職員も簡単に操作することが可能となります。また、未収金・未払金について、これまでのシステムでは月次の収支状況を把握するため、振替伝票と収入・支払伝票を分けて起票していましたが、本機能により一括して作業ができます。

### 3 ログ監理機能

会計伝票の修正・削除の操作記録を全て保存する「ログ監理機能」が追加されたことで、事故や不正を防止することにつながります。

## 看護部門の取組

### I アイランドナース活動報告会

昨年12月、歴代のアイランドナース(派遣者)の皆さんによる活動報告会を長崎市で開催しました。これまでに企業団離島病院に来られた長崎大学病院、長崎医療センターや九州医療センターの看護師の皆さんが一同に集い、派遣を希望された動機や派遣病院での学び・エピソード、離島医療の経験を活かした活動などを報告しました。また、報告会後の交流会では、離島ならではの体験を語り合うなど、互いの親睦を深め、楽しいひと時を過ごしました。



### アイランドナース・ネットワーク事業とは

都市部の大規模病院から企業団の離島病院へ看護師を派遣することで、看護師不足の離島病院をサポートし、派遣者も自病院では経験できない地域医療・看護を学び、看護実践力の向上を図る事業です。派遣期間は1年以内。平成22年度に開始し、令和5年度までに55名の方を派遣いただいています。

### II 認定看護師・専門看護師研修会

2月に5年ぶりの認定・専門看護師のための研修会を開催しました。企業団では、現在、専門看護師1名、認定看護師等34名が活躍しており、今回は計23名が参加しました。専門的知識や経験をどのように活かすか、ワクワク感をもって仕事に取り組む方法、診療報酬加算を考慮した業務改善の提案など、多角的に業務を見つめなおしながら、参加者の一体感を高める機会となりました。



### 企業団HPに「看護部門」ページを新設

○企業団ホームページをリニューアルし、「看護部門」ページを開設しました。今回は、看護学生や一般の看護師・助産師、企業団看護職員の皆さんへ、企業団看護部門の教育方針やキャリアパス、研修制度などをわかりやすく理解してもらうように解説しています。また、企業団職員限定でキャリアラダー研修動画なども公開しています。

○また、「VIVANTナース」と題し、企業団病院でイキイキ・ハツラツと仕事(WORK)や生活(LIFE)を楽しみながら働く職員を紹介していきます。第一弾は本部の貞方看護管理監、壱岐病院の庄山副看護部長です。2か月ごとに更新予定ですので、お楽しみに!

認定・専門看護師などの資格取得に興味のある方はこちら



長崎県病院企業団看護部HP



トップ



職員専用ページ



教育関連ページ





祝退職

# 長い間 ありがとうございました

3月に病院企業団全体の送別会が行われました。今回は3期12年の任期を終え退任される米倉正大企業長、退職される幹部職員の皆様をお送りするため、矢野右人名誉顧問やOBの方々など多数のご出席をいただきました。退職される皆様のこれまでの病院企業団への多大なご尽力に感謝するとともに、今後ますますのご健勝及びご多幸をお祈りいたします。



ご退職される3名の看護部長から  
ご挨拶をいただきました



島原病院  
看護部長  
小松 美佳

昭和60年から4年間を県立成人病センター多良見病院、平成元年より35年、先輩方と皆さまのご指導とご厚情により島原病院に勤務させていただきました。心よりお礼申し上げます。看護師としての職業を通して、同じ目標に向かって仕事をさせていただいた先輩方や同僚、多くの患者さんやご家族との出会いにより、自分を成長させてもらったと感謝しております。また、施設内や地域において患者さんやご家族より声をかけていただいたことも喜びでした。看護管理者としては、「人材確保」と「人材育成」が大きな課題となりました。企業団本部の皆さまのご指導や企業団病院の皆さまとの交流が有難く、支えとなりました。少子、超高齢、多死社会が進展する中、島原病院が島原半島の中核病院として地域医療に貢献し、求められる病院としてあり続けられるようお祈りいたします。今後の病院企業団の発展と、皆さまのご活躍を祈念しております。ありがとうございました。



対馬病院  
看護部長  
武田 恵美

昭和60年に旧厳原病院に入職し、39年の看護師人生をこの病院と共に過ごしてきました。2度の病院引越しを経験し、多くの思い出が詰まった対馬病院を、とうとう定年退職することとなりました。看護部長として迎えた最後の一年は、怒涛のように過ぎていきました。2交代勤務体制への移行、外国人技能実習生の受け入れ、ジャパンハートに協力していただき対馬病院プロジェクトを立ち上げ人材確保に取り組んだこと、残る仲間のためにも、少しでも働きやすい職場にしたいという思いで、走り続けた一年でした。とても楽しく取り組むことができたのは、未熟な私を支えて下さった貞方看護管理監、八坂院長、事務部長、副看護部長達のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。今後の病院企業団の発展と、対馬病院が益々住民に選ばれる病院となることを祈念しております。



杵岐病院  
看護部長  
柳澤 あけみ

令和3年4月から3年間、勤務いたしました。赴任した際はまだコロナ禍の真っ只中で、収まる気配がありませんでした。しかし感染チームの早期対応、院長のリーダーシップの下、病院一丸となって乗り越えられたと思います。職員の皆様の協力にはとても感謝しております。そして、常に苦勞したのが、夜勤人員の確保、助産師・看護師等人材の確保でした。厳しい状況の中、看護職員の皆様には協力して頑張っていたいただきありがとうございました。これからの課題でもありますが、離職者の減や新規採用者の確保のため、職場環境は重要と考えます。今後病院の増築工事の完成後には、より働きやすくなることを期待します。島内代表の病院として、これからも島民に選ばれる素晴らしい病院であり続けてほしいと願っています。これまでご支援ご協力いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。今後の病院企業団の益々の発展と職員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

特集  
3

Zoom up!

## 長崎県医療計画（第8次）の概要

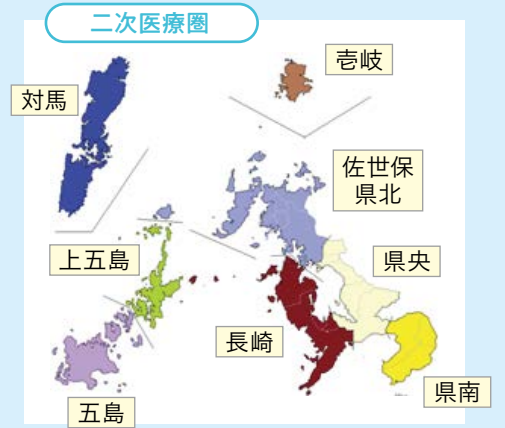
長崎県は医療法に基づき、長崎県医療計画を策定しています。この計画は県内の医療政策推進の基本方針となるもので、病院企業団にとっても重要な計画です。今回は令和6～11年度の新しい「長崎県医療計画（第8次）」のポイントをご紹介します。

### I 計画の目的

- 医療機能の分化・連携の推進を通じて、地域において切れ目のない医療の提供を実現し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図る

### II 二次医療圏の設定

- 一般の入院医療が概ね完結する範囲として、地理的要件など社会的条件を考慮し、8つの二次医療圏を設定（在宅医療は19地域）



### III 計画の内容

#### (1) 総論

- 病床等の整備単位である「二次医療圏」と、医療圏ごとに基準病床（病床規制の基準となる病床数）を設定
- 本県の現状（人口動態、受療動向等）

#### (2) 5疾病6事業及び在宅医療

- がん、脳卒中、急性心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患の5疾病と、離島へき地、救急、小児、周産期、災害、新興感染症発生・まん延時における医療の6事業及び在宅医療について、課題や施策の方向性及び評価する指標を設定

#### (3) 主要な分野の医療提供体制

- (2) 以外で、本県の実情に照らして必要な疾患等（リハビリ、難病・アレルギー、結核・感染症、臓器移植、高次・救急歯科医療）について、課題や施策の方向性及び評価する指標を設定

#### (4) 地域医療構想 (5) 医療の安全確保と医療サービス (6) 外来医療計画

#### (7) 地域医療を担う人材の確保と資質の向上

- 医師、歯科医師、看護職員、薬剤師、歯科衛生士・歯科技工士等医療従事者の確保と育成

#### (8) 二次医療圏ごとの課題と施策の方向性

計画の  
ポイント

#### 1 超高齢社会・人口減少社会における持続可能な医療体制の構築

高齢化の進展による医療ニーズの変化や人口減少による労働力人口の減少を踏まえ、地域の実情を踏まえた効率的・効果的な医療体制の構築を図る

- ✓ 回復期病床への病床転換や病床適正化の促進（地域医療構想）
- ✓ 疾病予防・介護予防まで含めた体制の充実（がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病・CKD等）
- ✓ 在宅医療において積極的役割を担う医療機関の位置づけ（在宅医療）
- ✓ 医療・介護従事者や住民に対するACPの理解促進（救急・在宅医療）

#### 2 新興感染症発生・まん延時や災害時等に備えた医療体制の整備

● 新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、平時から医療機関の機能及び役割に応じた新興感染症及び通常医療提供体制の確保を図る

● 災害時においても必要な医療を提供できる体制の構築を図る

- ✓ 新興感染症の発生・まん延時に備えた病床確保等に関する協定の締結（新興感染症）
- ✓ 新興感染症の発生時等における通常医療と両立可能な体制の構築（救急、小児、周産期等）
- ✓ 在宅医療を積極的に担う医療機関等におけるBCP作成促進（在宅医療）

#### 3 医療従事者の効果的な確保

- ✓ 医師偏在の状況等を踏まえた対策の実施
- ✓ 薬剤師の確保・資質向上

#### 4 介護保険事業（支援）計画等の他の計画との整合性の確保

【主な関係計画】  
介護保険事業（支援）計画、がん対策推進計画、循環器病対策推進計画、感染症予防計画、外来医療計画、医師確保計画、薬剤師確保計画、医療費適正化計画、健康増進計画（健康ながさき21）、歯・口腔の健康づくり推進計画（歯なまるスマイルプラン）

#### 5 具体的な指標の設定による政策循環の強化

- ✓ データに基づいた現状の分析・課題の把握
- ✓ 具体的な指標を用いた進捗評価





## 監獄ホテル！？

星野リゾートが日本初のラグジュアリーな「監獄ホテル」として、令和8年春に明治41年建設の旧奈良監獄を活用した宿泊施設を開業します。この施設は「明治の五大監獄（刑務所）」の1つで、千葉、金沢、鹿児島とともに長崎・諫早市にも長崎監獄が造られました。全国的には「博物館 網走監獄」が観光地としては有名ですが、マイナスイメージな施設の大胆な活用に星野リゾートの企画開発・行動力に改めて感心したところではあります。

小職が県文化財担当者の頃、長崎監獄は現存しており、文化庁担当者と所有者の了解を得て建物内部に立ち入ることができました。明治期の技術の粋を集めた大規模な赤レンガ建築群に圧倒されたことが今でも脳裏に焼き付いています。今後、人口減少とともに文化財保存の担い手が減る中、星野リゾートのような「保存と活用の好循環」の事例が増えてくることを期待したいと思います。

今回は、長崎監獄をはじめとする、江戸時代末期から第二次世界大戦終了時までの本県の近代化のために造られた建造物（近代化遺産）を調査し、刊行された県教育委員会の「長崎県近代化遺産総合調査報告書（1998年）」の中から、皆様が見学できる興味深い建造物をいくつかご紹介します。分野が非常に多岐にわ



旧長崎刑務所  
正門（諫早市）

たっているため、今回は鉄道・軍事関係などに限定したいと思います。

鉄道関係として、松浦鉄道の福井川橋梁などは、戦時中の昭和14年に物資不足のため、鉄筋ではなく竹で補強された竹筋コンクリート建設のアーチ橋です。また、旧国鉄の駅舎として大村駅が大正7年、道ノ尾駅が大正15年に建築され、当時の駅舎を今に伝える貴重な建物です。

軍事施設として、大正12年建設の佐世保市民文化ホールは、第1次世界大戦での佐世保鎮守府艦艇の活躍を称えた凱旋記念館であり、大正11年に建設された国の文化財「針尾送信塔」などとともに日本近代化の躍動を体感できます。壱岐市の昭和8年竣工の黒崎砲台、対馬市の昭和9年竣工の豊砲台、明治33年完成した延長約300mの万関運河などは、本県離島が国防の要であったことを認識させられます。

このほか雲仙観光ホテルは昭和10年に長崎上海航路による訪日外国人誘致のために建設され、日本在来の建築にスイス・シャレー式を加えた豪華華麗さと素朴簡潔なコテージの趣味を兼ね備えています。

最後に小職が県の学芸文化課の頃、前述の調査報告書に基づき、故文化庁調査官が県内の多くの教会堂を国の文化財に指定していただいた。この指定による保護措置もあり、後にほとんどは世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産となりました。

今回も最後に心に残った一言、新型コロナウイルスのメッセンジャーRNAワクチンの基礎構造を発見した古市泰宏先生が、これからの研究者にエールとして送った言葉「YMW（やって、みなくちゃ、わからない）。挑戦する心。好奇心を持って突き進めば、そこから思わぬ発見がある」。

皆様も新しい年度に、新たなチャレンジをしてみてください!!

文責：副企業長 馬場 秀喜

### 編集後記

この度、米倉企業長及び人事異動により三浦主任主事、瀬川主任主事が、本部を去ることになりました。ふくよかの名付け親である米倉企業長が退職されるのは寂しい気持ちもありますが、皆さまの益々のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

また、新しく本部に2名の方が赴任されました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

表紙写真提供：(一社)長崎県観光連盟

令和6年4月発行  
編集・発行/長崎県病院企業団本部  
〒850-0035 長崎市元船町 17-1 長崎県大波止ビル7階  
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759  
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp  
[U R L] <https://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp>  
©上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想をどんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団  
ホームページ

